

4/27(火)開催「高度物流人材シンポジウム」 開催趣旨・プログラム

開催趣旨

物流分野は、人手不足やデジタル化の遅れ、新型コロナの影響等も深刻な中で、現在、大きな変革を迫られています。このような状況を打破し、新時代のロジスティクスを実現していくためには、国内の物流課題や海外の動向なども踏まえサプライチェーン全体を俯瞰して経営戦略を構築できる人材や、物流DXを牽引できる人材が求められています。

こうした高度物流人材に求められる能力を明らかにするとともに、今後の物流業界の可能性を提示し、文理含めた幅広い人材の物流分野への参入を促すためのシンポジウムを開催しました。

**国土交通省HPにて、
当日の動画・資料を公開中**

https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/seisakutokatsu_freight_tk1_000196.html



大学生・大学院生・若手社会人(物流、メーカー、流通系企業)等のための **高度物流人材シンポジウム**

～新時代のロジスティクスといま求められる人材像～

プログラム

16:00 ~ 開会挨拶	国土交通省 国土交通大臣政務官 朝日 健太郎 (予定) 日本物流団体連合会 会長 日本ロジスティクスシステム協会 副会長 渡邊 健二
16:05 ~ 基調講演	物流を取り巻く動向と高度物流人材育成の現状 国土交通省 公共交通・物流政策審議官 久保田 雅晴
16:15 ~ 講演①	Logistics4.0ービジネスイノベーターによる物流の革新ー ㈱ローランド・ベルガー パートナー 小野塚 征志
16:40 ~ 講演②	ビジネススクールで教える物流 ～日本発の経営理論 OM～ ㈱野村総合研究所 主席研究員 藤野 直明
17:05 ~ 講演③	今後の高度物流人材像 ～文理融合による分野横断的人材の必要性～ 東京大学 先端科学技術研究センター 教授 西成 活裕
17:20 ~ 休憩	
17:30 ~	パネルディスカッション 『物流クライシスを乗り越えるDX時代の高度物流人材像』 ファシリテーター:東京大学 先端科学技術研究センター 教授 西成 活裕 パネリスト:CBcloud㈱ 代表取締役CEO 松本 隆一 日本マクドナルド㈱ ストラテジックソーシング部長 梶野 透 ㈱日立物流 経営戦略本部 経営戦略部長 石山 圭 ヤマト運輸㈱ EC事業部 ゼネラルマネージャー 齊藤 泰裕 国土交通省 大臣官房審議官(公共交通・物流政策・危機管理) 金井 昭彦
19:00 ~ 閉会挨拶	経済産業省 大臣官房審議官(商務・サービス担当) 岩城 宏幸

※敬称略。開始時間は目安です。 ※プログラムは都合により変更になる場合がありますので予めご了承ください。

講演内容（抜粋）



株式会社野村総合研究所 主席研究員 藤野様

（行政へのシンクタンク業務に加え、民間企業へのコンサルテーション、主にオペレーションズ・マネジメント、SCM領域を担当）

「物流」はビジネススクールでは経営全体の視点から、ヴァリューチェーン全体の「システム」のマネジメントとしてOM科目で研究・教育を行っている。

なぜ、「システム」のマネジメントなのか = 「物流の問題は、物流部門だけでは解決できない問題」だからである。

物流、SCMやDXは、データサイエンスというよりも経営システムのエンジニアリング（工学）

海外の研究者や実務家は異口同音に、「日本から多くを学んだ」と言っている。

OM（オペレーションズマネジメント）は、実は日本発の経営理論である。

日本はOMの学習機会に乏しい。ビジネススクールや社会人リカレント教育に組み込むことが急務。



東京大学 先端科学技術研究センター 西成教授

（分野横断的に渋滞を研究する「渋滞学」を提唱し、その著書は講談社科学出版賞などを受賞。

2020年から、鈴与・ヤマトHD・SBSHDの協力により、東京大学に高度物流人材を育成する寄附講座「先端物流科学」を開設）

物流は「文理融合」の分野！そうしたカリキュラムを大学・大学院は準備すべし

AI & IoT、その他様々な応用数学等、高度な理系知識は不可欠かつ、デマンドウエブ全体を見渡せる

大局観・文理融合視点が重要

大学 企業への連携体制の強化

物流というインフラへの高度人材を計画的に輩出できるしくみづくりが急務。このままでは外国勢が席卷する！

（インターン制度の拡充や大学での物流講座の開設など）企業側はいかに好待遇でそうした人材を迎えられるかも大きな課題）

社会人向けリカレント教育の充実

新技術をすぐに習得できるような場を用意すべし。経営幹部向けの物流戦略を学ぶ場も必要